

周産母子センター

センター長	齋藤 滋
副センター長	八木 信一
講師	廣川 慎一郎
講師	酒井 正利
助手	二谷 武
助手	佐々木 泰子
助手	内 尚

◆ 研究概要

従来、妊婦・胎児に対する医療は産科医が行ない、新生児に対する医療は新生児科医（小児科医）、小児外科医、小児循環器外科医、脳神経外科医、眼科医などが行なってきた。医療の進歩とともに、合併症を有する胎児の出生前診断が可能となり、また母体搬送の増加により、出生前から出生後まで、同一部門で集中的に管理する必要が生じてきた。周産母子センターはこのようなニーズのもと、設置された部門であり、産婦人科医、新生児科医、小児外科医、小児循環器外科医などが出生前から協力して胎児治療を行ない、分娩直後から、新生児に対して総合的な治療を行なう部門である。また、看護スタッフも出生前から出生後まで一貫した看護を行ないえる利点を有する。このような一貫した治療は、新生児の予後を改善するのみならず、種々の問題提起にもつながり、さらなる医学の向上が期待される。周産母子センターでは、従来の診療部門の垣根を越えた、総合的な医療を実践し、この中から診療、教育、研究を進めていく新たな部門である。

◆ 著 書

- 1) 齋藤 滋, 酒井正利: 異常産褥の治療と管理 (母子感染の予防). 「新女性医学大系32 産褥」萩田幸雄編, 178-190, 中山書店, 東京, 2001.
- 2) 齋藤 滋, 酒井正利, 種部恭子, 佐々木泰: 胎児の成長・発達 (胎児の機能的成熟) 「新女性医学大系22 正常妊娠」神保利春編, 59-81, 中山書店, 東京, 2001.
- 3) 齋藤 滋, 酒井正利, 種部恭子: 妊娠・分娩・産褥と心身の変化 (浮腫) 「新女性医学大系」木下勝之編, 149-159, 中山書店, 東京, 2001.
- 4) 齋藤 滋: 婦人科疾患B. 検体検査6免疫学的検査「看護のための最新医学講座 19」日野原重明編, 87-94, 中山書店, 東京, 2001.
- 5) 齋藤 滋: HTLV-I. 「性感染/HIV感染」(財)性の健康医学財団編, 236-239, メジカルビュー社, 東京, 2001.

- 6) 酒井正利, 齋藤 滋: 妊娠偶発合併症—自己免疫疾患—. 「看護のための最新医学講座」日野原重明, 井村裕夫監修. 第15巻. 215-221. 中山書店, 東京. 2001.
- 7) 酒井正利, 齋藤 滋: 妊娠偶発合併症—血液疾患—. 「看護のための最新医学講座」日野原重明, 井村裕夫監修. 第15巻. 222-229. 中山書店, 東京, 2001.
- 8) 二谷 武, 宮脇利男: 抗体欠乏を主とする免疫不全. 「小児疾患の診断治療基準」小児内科小児外科編集委員会共編, 236-237, 東京医学社, 東京, 2001.

◆ 原 著

- 1) Sakai M., Tanebe K., Sasaki Y., Monma K., Yoneda S. and Saito S.: Evaluation of the tocolytic effect of a selective cyclooxygenase-2 inhibitor in a mouse model of lipopolysaccharide-induced preterm delivery. *Mol. Hum. Reprod.* 7:595-602, 2001.
- 2) Hidaka T., Fujimura M., Sakai M. and Saito S.: Macrophage Colony-stimulating Factor Prevents Febrile Neutropenia Induced by Chemotherapy. *Jpn. J. Cancer Res.* 92: 1251-1258, 2001.
- 3) Tsuda H., Michimata T., Sakai M., Nagata K., Nakamura M. and Saito S.: A novel surface molecule of Th2-and Tc2-type cells, CRTH2 expression on human periphe-ral and decidual CD4⁺ and CD8⁺ T cells during the early stage of pregnancy. *Clin. Exp. Immunol.* 123:105-111, 2001.
- 4) Tsuda H., Sakai M., Michimata T., Tanebe K., Hayakawa S. and Saito S.: Characterization of NKT cells in human peripheral blood and decidual lymphocytes. *Am. J. Reprod. Immunol.* 45:295-302, 2001.
- 5) Kataoka K., Nakajima A., Takata Y., Saito S. and Huh N.: Screening for genes involved in tissue invasion based on placenta formation and cancer cell lines with low and high metastatic potential. *Cancer Letters* 163:213-219, 2001.
- 6) Namba Y., Hondo E., Morimoto M., Nakamura O., Kusakabe K., Ito M., Saito S., Sagara E. and Kiso Y.: A study of reproductive performance in pregnant, IL-2 receptor β -chain overexpressed transgenic

- mice. *J. Vet. Med. Sci.* 63:99-101, 2001.
- 7) Yoshino T., Kishi H., Nagata T., Tsukada K., Saito S. and Muraguchi A.: Differential involvement of p38 MAP kinase pathway and Bax translocation in the mitochondria-mediated cell death in TCR-and dexamethasone-stimulated thymocytes. *Eur. J. Immunol.* 31:2702-2708, 2001.
 - 8) Futatani T., Watanabe C., Baba Y., Tsukada S., and Ochs HD.: Bruton's tyrosine kinase is present in normal platelets and its absence identifies patients with X-linked agammaglobulinaemia and carrier females. *Brit J Haematol.* 114:141-149, 2001.
 - 9) Ziegner UH., Ochs HD., Schanen C., Feig SA., Seyama K., Futatani T., Gross T., Wakim M., Roberts RL., Rawlings DJ., Dovat S., Fraser JK., and Stiehm ER.: Unrelated umbilical cord stem cell transplantation for X-linked immuno-deficiencies. *J Pediatr.* 138:570-573, 2001.
 - 10) Konishi T., Matsuzawa J., Hongou K., Murakami M., Yamatani M., and Yagi S.: Candidate selection for surgical treatment in children with intractable epilepsies. *Epilepsia* 42:56, 2001.
 - 11) Hongou K., Konishi T., Matsuzawa J., Yagi S., and Miyawaki T.: A case of migrating partial seizures in an infant with severe eczema, conjunctivitis, and loss of hair. *Epilepsia* 42:72-73, 2001.
 - 12) 道又敏彦, 宮崎聡美, 津田 博, 種部恭子, 齋藤 滋: 当科における卵管鏡下卵管形成術(FTカテーテル)ークラミジア感染症とその治療成績についてー. *日産婦富山地方部会誌* 15:9-13, 2000. (2000年度追加)
 - 13) 酒井正利, 津田 博, 道又敏彦, 齋藤 滋: Th1/Th2バランスと妊娠中毒症. *日本妊娠中毒症学会雑誌.* 8:87-90, 2000. (2000年度追加)
- ◆ 症例報告
- 1) Hirokawa S, Uotani H, Yoshida T, Tsukada K.: An ileo-ileal intussusception and an ileal stricture associated with necrotizing enterocolitis in a premature infant: Report of a case. *Surgery Today (Jpn J Surg).* 31: 1097-1099, 2001, Springer-Verlag.
 - 2) 八木信一, 松沢純子, 本郷和久, 山谷美和, 宮脇利男, 小西 徹: Eyelid myoclonia with absences Eyelid myoclonia with absencesの兄弟例. *脳と発達* 33:517-522, 2001.
 - 3) 種部恭子, 小出直哉, 酒井正利, 齋藤 滋: 妊娠子宮による圧迫に起因した胃食道逆流症に対するエカベトナトリウムの使用経験 *新薬と臨床* 50:1067-1070, 2001.
- ◆ 総 説
- 1) Shigeru Saito: Cytokine cross-talk between mother and the embryo/placenta<Review>. *J. Reprod. Immunol.* 52:15-33, 2001.
 - 2) 齋藤 滋, 藤村正樹, 酒井正利: 絨毛細胞の増殖ー分化とサイトカイン *細胞培養工学* 27:316-319, 2001.
 - 3) 齋藤 滋, 酒井正利: 早産と免疫 *日本医事新報* 4042:12-18, 2001.
 - 4) 齋藤 滋, 酒井正利: 早産と絨毛膜羊膜炎 化学療法の領域 17:1051-1059, 2001.
 - 5) 酒井正利, 齋藤 滋: 絨毛膜羊膜炎の早期診断. *産婦人科の実際* 50:27-33, 2001.
 - 6) 酒井正利, 日高隆雄, 齋藤 滋: 産婦人科手術のリスクに関する情報提供の実際 *産婦人科の実際* 50:461-466, 2001.
 - 7) 種部恭子, 齋藤 滋: 経口ホルモン薬による治療. *臨床と薬物治療* 20:114-119, 2001.
 - 8) 種部恭子, 齋藤 滋: 女性のQOLと子宮内膜症ー経口ホルモン薬による治療. *臨床と薬物治療* 20: 114-119, 2001.
 - 9) 齋藤 滋: ウイルスと母子感染 *産婦人科治療* 82:407-413, 2001.
 - 10) 齋藤 滋: 母子感染免疫の意味 *周産期医学* 31:521-525, 2001.
 - 11) 齋藤 滋: 妊娠の成立維持にかかわる免疫学ー周産期と免疫(分娩を中心として)ー産婦人科の世界 53:161-169, 2001.
 - 12) 齋藤 滋, 酒井正利, 藤村正樹: サイトカイン *周産期医学増刊号* 31:42-43, 2001.
 - 13) 齋藤 滋: レクチャーシリーズ3.早産と免疫 *日本産科婦人科学会誌* 53:N195-N199, 2001.
 - 14) 齋藤 滋: 胎児の免疫能と感染防御「ヘルペスウイルスの母子感染とその対策」ヘルペス感染症研究会誌 19-22, 2001.
 - 15) 酒井正利, 齋藤 滋: 早産予防とCOX-2阻害剤 *産婦人科治療* 82:532-536, 2001.
 - 16) 酒井正利, 齋藤 滋: 切迫早産治療における硫酸マグネシウムの有用性および安全性 *産婦人科の実際* 50:619-622, 2001.

- 17) 酒井正利, 斎藤 滋: 早産・切迫早産・PROM 症例での羊水診断 周産期医学 31:1037-1041, 2001.
- 18) 酒井正利, 斎藤 滋: 切迫早産治療における硫酸マグネシウム投与の有用性と安全性について 産婦人科の世界 50:903-908, 2001.
- ◆ 学会報告
- 1) Saito S, Tsuda H. and Michimata T.: Distribuion of Th1 and Th2 Cells at Implantation Site in Human. 8th International Congress of Reproductive Immunology, 2001, 7, Croatia. <Invated>
- 2) Sakai M. Tsuda H., Tanebe K., Sasaki Y. and Saito S.: Decreased Interleukin (IL)-12 Secretion in Normal Pregnancy Subjects and Increased IL-12 Secretion in Preeclamptic Patients by Peripheral Blood Mononuclear Cells. 8th International Congress of Reproductive Immunology, 2001, 7, Croatia.
- 3) Michimata T., Miyazaki S., Tsuda H., Tanebe K. and Saito S.: Expression and Localization of Th2 Chemokine Receptor (CRTH2) on Decidual Lymphocytes. 8th International Congress of Reproductive Immunology, 2001, 7, Croatia.
- 4) Tsuda H. Michimata T., Tanebe K. and Saito S.: Distribution of CCR4⁺- T Cells on Decidual Lymphocytes. 8th International Congress of Reproductive Immunology, 2001, 7, Croatia.
- 5) Hayakawa S., Saito S. and Yamamoto T.: Murine Experimental Models of Fetal Resorption and Preeclampsia Caused by Both Excessive Th1 and Th2 Activation. 8th International Congress of Reproductive Immunology, 2001, 7, Croatia.
- 6) 斎藤 滋: 炎症と早産. 第13回富山県母性衛生学会会長講演, 2001, 2, 富山.
- 7) 斎藤 滋: 女性と骨粗鬆症. 朝日町連合婦人会特別講演, 2001, 3, 富山.
- 8) 斎藤 滋: 胎児の免疫能と感染防御「ヘルペスウイルスの母子感染とその対策」. JHIF WORK SHOP, 2001, 3, 三重.
- 9) 斎藤 滋: 周産期における免疫. 第88回鹿児島市立病院周産期センター新生児セミナー特別講演, 2001, 9, 鹿児島.
- 10) 斎藤 滋: 炎症反応からみた早産. 平成13年度奇松会(浜松市産婦人科医会)特別講演, 2001, 9, 浜松.
- 11) 斎藤 滋: 富山県での早産予防の試み. 第28回日産婦人科大会教育講演, 2001, 10, 富山.
- 12) 斎藤 滋: 免疫の立場からみた習慣流産-正常妊娠との対比-. 第46回日本不妊学会ランチョンセミナー, 2001, 11, 東京.
- 13) 斎藤 滋: 炎症からみた早産. 日産婦日母群馬県支部集団会特別講演, 2001, 11, 群馬.
- 14) 斎藤 滋: 炎症からみた周産期医療. 第100回長野県周産期カンファランス特別講演, 2001, 12, 長野.
- 15) 斎藤 滋: 早産の病態と予防・治療. 第6回茨城県水戸周産期懇話会特別講演, 2001, 12, 茨城.
- 16) 斎藤 滋: 炎症と早産. 第51回日産婦高知地方部会学術集会, 2001, 12, 高知.
- 17) 斎藤 滋: オーバービュー「子宮内膜症とは」. 日産婦学会公開講座, 2001, 11, 富山.
- 18) 酒井正利, 米田 哲, 佐々木泰, 種部恭子, 斎藤 滋: 当科における先天性心疾患の搬送状況. 平成13年度日本産科婦人科学会富山地方部会シンポジウム, 2001, 9, 富山.
- 19) 酒井正利, 立松美樹子, 米田 哲, 佐々木泰, 種部恭子, 二谷 武, 八木信一, 斎藤 滋. 羊水持続補充療法が奏功した早期preterm PROMの2症例. 第15回北陸未熟児・新生児研究会シンポジウム, 2001, 10, 石川.
- 20) 米田 哲, 茨 聡, 丸山有子, 丸山英樹, 加藤英二, 小林康祐, 住田由美, 須波 玲, 斎藤 滋: 低酸素性虚血性脳症の出生早期における血中イオン化カルシウムの変化. 日本脳低温療法研究会, 2001, 7, 山口.
- 21) 酒井正利, 佐々木泰, 渡辺弘道, 林 崇, 種部恭子, 斎藤 滋: 当科で管理された妊娠32週以降のpreterm PROMと新生児予後に関する検討. 第4回富山県母子医療研究会, 2001, 1, 富山.
- 22) 橋本郁夫, 上勢敬一郎, 濱道裕二, 東山弘幸, 二谷 武, 広野恵一, 渡辺綾佳, 市田露子, 宮脇利男, 島津親志, 土肥義郎, 大嶋義博, 三崎拓郎, 廣川慎一郎, 霜田光義: Coil embolizationを施行した, 右横隔膜ヘルニア, 肺分画症, Scimitar症候群, 心房中隔欠損症, 大動脈縮窄の新生児例, 北陸小児循環器懇話会. 2001, 2, 金沢.
- 23) 佐々木泰, 酒井正利, 渡辺弘道, 林 崇, 高木紀美代, 種部恭子, 斎藤 滋: 当科で管理された妊娠32週以前のpreterm PROMと新生児予後に関する検討. 第13回富山県母性衛生学会, 2001, 2,

- 富山.
- 24) 廣川慎一郎, 魚谷英之, 坂東 正, 塚田一博, 増田 明, 山下優子: 大学病院における小児外科領域day surgeryの検討. 第101回日本外科学会総会, 2001, 4, 仙台.
 - 25) 魚谷英之, 山下 巖, 長田拓哉, 坂東 正, 岡本政広, 岸本浩史, 広川慎一郎, 田内克典, 新井英樹, 塚田一博: マウスにおける肝部分切除による肝転移増強効果と抗E-selectin抗体投与によるその抑制. 第101回日本外科学会総会, 2001, 4, 仙台.
 - 26) 津田 博, 道又敏彦, 種部恭子, 齋藤 滋: 脱落膜リンパ球のNKT細胞についての検討. 第53回日本産科婦人科学会総会, 2001, 5, 札幌.
 - 27) 堀 慎一, 齋藤 滋: 臍帯血CD14およびCD34陽性細胞からの樹状細胞誘導と抗原提示能についての検討. 第53回日本産科婦人科学会学術講演会, 2001, 5, 札幌.
 - 28) 酒井正利, 津田 博, 道又敏彦, 種部恭子, 宮崎聡美, 齋藤 滋: Th1/Th2バランスと妊娠中毒症の関連性についての検討. 第53回日本産科婦人科学会総会, 2001, 5, 札幌.
 - 29) 種部恭子, 宮崎聡美, 津田 博, 齋藤 滋: IL-2受容体 γ 鎖ノックアウトマウスにおける生殖性ならびに妊孕性に関する研究. 第53回日本産科婦人科学会総会, 2001, 5, 札幌.
 - 30) 宮崎聡美, 種部恭子, 米田 哲, 酒井正利, 齋藤 滋: 早産児, IUGR児の顆粒球, 単球におけるG-CSF受容体の発現と好中球殺菌能, 貪食能についての検討. 第53回日本産科婦人科学会総会, 2001, 5, 札幌.
 - 31) 坂東 正, 霜田光義, 黒木嘉人, 遠藤暢人, 齊藤素子, 齊藤文良, 廣川慎一郎, 塚田一博, 田中三千雄: 診断に苦慮した著明な十二指腸浸潤を伴った胆管癌の1例. 第61回日本消化器内視鏡学会総会, 2001, 5, 神戸.
 - 32) 立松美樹子, 種部恭子, 佐々木泰, 酒井正利, 齋藤 滋: 早期preterm PROMに対する羊水補充療法が奏効した2症例. 第29回日産婦北陸連合地方部会, 2001, 6, 新潟.
 - 33) 堀 慎一, 齋藤 滋, 高上洋一: 臍帯血CD34およびCD14陽性細胞からの樹状細胞誘導とその抗原提示能についての検討. 第11回日本産婦人科・新生児血液学会, 2001, 6, 宇都宮.
 - 34) 道又敏彦, 津田 博, 種部恭子, 齋藤 滋: 脱落膜リンパ球のTh2ケモカインレセプター(CRH2)の発現および局在に関する検討—着床部と非着床部での比較—. 第38回日本不妊学会北陸支部学術集会, 2001, 6, 金沢.
 - 35) 八木信一, 田仲千秋, 松沢純子, 本郷和久, 山谷美和, 宮脇利男, 小西 徹: Hallervorden-Spatz syndromeの姉, 弟例. 第33回日本小児神経学会, 2001, 6, 岡山.
 - 36) 宮原佐弥, 原祐郁, 島津親志, 大嶋義博, 三崎拓郎, 廣川慎一郎, 薄田勝男, 石澤 伸: 横隔膜に発生したInflammatory myofibroblastic tumorの1例. 第44回関西胸部外科学会, 2001, 6, 大阪.
 - 37) 廣川慎一郎, 魚谷英之, 塚田一博, 増子 洋, 山下芳朗: 外科的処置, 治療を施行した極小および超低出生体重児症例の検討. 第38回日本小児外科学会総会, 2001, 6, 東京.
 - 38) 坂東 正, 霜田光義, 長田拓哉, 野本一博, 貫井裕次, 岸本浩史, 清水哲朗, 田内克典, 廣川慎一郎, 塚田一博: 経皮経肝胆道ドレナージ経路に転移をきたした胆嚢癌の1例. 第31回日本肝胆膵外科学会, 2001, 6, 仙台.
 - 39) 東山弘幸, 窪田博道, 小西道雄, 今村博明, 粕井正春, 野澤 寛, 種市尋宙, 野村恵子, 金兼弘和, 宮脇利男, 廣川慎一郎, 吉田礼子: 腹痛を契機にみつかったBurkittリンパ腫の1例. 第7回日本小児科学会富山地方会, 2001, 7, 高岡.
 - 40) 廣川慎一郎, 魚谷英之, 坂東 正, 塚田一博: 教育施設としての大学病院における小児鼠径ヘルニアの標準化. 第56回日本消化器外科学会総会, 2001, 7, 秋田.
 - 41) 南村哲司, 新井英樹, 笹原孝太郎, 岸本浩史, 貫井裕次, 山崎一磨, 大上英夫, 清水哲朗, 田内克典, 齊藤光和, 広川慎一郎, 霜田光義, 塚田一博: 腸管平滑筋を用いた肛門管再形成術の肛門機能評価. 第56回日本消化器外科学会総会, 2001, 7, 秋田.
 - 42) 道又敏彦, 津田 博, 種部恭子, 齋藤 滋: Th1/Th2バランスがマウス黄体機能に与える影響についての検討. 第19回日本受精着床学会, 2001, 7, 横浜.
 - 43) 酒井正利, 佐々木泰, 種部恭子, 齋藤 滋: 子宮頸管粘液中のIL-8高値例に対する早期治療と早産率の減少についての前方視的研究. 第37回日本新生児学会総会, 2001, 7, 横浜.
 - 44) 佐々木泰, 酒井正利, 二谷 武, 高木紀美代, 齋藤 滋: 当科で管理された妊娠32週以前のpreterm PROMと新生児予後に関する検討. 第37回日本新生児学会総会, 2001, 7, 横浜.

- 45) 米田 哲, 茨 聡, 丸山有子, 丸山英樹, 加藤英二, 小林康祐, 住田由美, 須波 玲, 齋藤 滋: 低酸素性虚血性脳症(HIE)における血中イオン化カルシウムの変化. 日本新生児学会, 2001, 7, 横浜.
- 46) 立松美樹子, 種部恭子, 佐々木泰, 酒井正利, 齋藤 滋: 羊水持続補充療法が奏効した早期PROMの2症例. 第37回日本新生児学会, 2001, 7, 横浜.
- 47) 二谷 武, 八木信一, 種市尋宙, 宮脇利男, 米田 哲, 佐々木泰, 齊藤 滋, 久保道也, 桑山直也, 浜田秀夫, 遠藤俊郎, 中林玄一, 住田 亮, 嶋大二郎: コイル塞栓術により心不全の改善が得られた先天性頭蓋内動静脈瘻の新生児例. 第7回日本小児科学会富山地方会, 2001, 7, 高岡.
- 48) 二谷 武, 東山弘幸, 佐々木 泰, 横山裕司, 八木信一, 今村博明, 齋藤 滋, 宮脇利男: 17番染色体腕間逆位によるMiller-Dieker症候群の家族内発生例. 第37回日本新生児学会, 2001, 7, 横浜.
- 49) 小出直哉, 齋藤 滋: 帝王切開術後に汎発性腹膜炎, SIRSを発症し, 持続的血液濾過透析(CHDF)が有効であった1症例. 第3回北信越立山セミナー, 2001, 8, 福井.
- 50) 堀 慎一, 津田 博, 齋藤 滋: 臍帯血CD34およびCD14陽性細胞からの樹状細胞誘導とその抗原提示能についての検討. 日本産婦人科学会北日本連合地方部会, 2001, 9, 仙台.
- 51) 松井三枝, 松沢純子, 牛 麗莎, 八木信一, 小西 徹: 健常乳幼児脳における前頭前野体積の発達変化. 第25回日本神経心理学会, 2001, 9, 神戸.
- 52) 廣川慎一郎, 魚谷英之, 大上英夫, 塚田一博, 二谷 武: 正中頸裂の1例. 第31回日本小児外科学会北陸地方会, 2001, 9, 金沢.
- 53) 松岡二郎, 廣川慎一郎, 渋谷和人, 大上英夫, 塚田一博, 米田 哲, 二谷 武: 子宮内腸重積により発生した回腸閉鎖症の1例, 第31回日本小児外科学会北陸地方会, 2001, 9, 金沢.
- 54) 橋本伊佐也, 神山公希, 大上英夫, 安齋 裕, 廣川慎一郎, 清水哲朗, 塚田一博: 慢性リンパ性白血病の寛解中に発見された乳癌の1例. 第250回北陸外科学会, 2001, 9, 金沢.
- 55) 島津親志, 大嶋義博, 河嶋芳正, 三崎拓郎, 廣川慎一郎: 鎖肛を伴った大動脈縮窄症に対し計画的治療を行った1例. 第31回日本小児外科学会北陸地方会, 2001, 9, 金沢.
- 56) 中西ゆう子, 松岡二郎, 濱名俊泰, 坂東 正, 廣川慎一郎, 塚田一博: 早期胃癌と脾腫瘍に対し, 同時切除を行った1例. 第250回北陸外科学会, 2001, 9, 金沢.
- 57) 渋谷和人, 霜田光義, 大上英夫, 長 誠司, 廣川慎一郎, 塚田一博, 山下昭雄: 術後に深部静脈血栓症, 肺塞栓症を来した再々発鼠径ヘルニアの1例. 中部外科学会, 2001, 9, 岐阜.
- 58) 佐々木泰, 酒井正利, 米田 哲, 種部恭子, 齋藤 滋: 新生児遷延性肺高血圧症(PPHN)に対し, 体外膜型人工肺(ECMO)が奏功した先天性横隔膜ヘルニアの1症例. 日本産婦人科学会北日本連合地方部会, 2001, 9, 仙台.
- 59) 廣川慎一郎, 魚谷英之, 大上英夫, 坂東 正, 塚田一博, 北川洋子, 山下優子: 小児外科領域 Short stay surgeryに対応するクリニカルパスの運用. 第63回日本臨床外科学会総会, 2001, 10, 横浜.
- 60) 貫井裕次, 霜田光義, 坂東 正, 濱名俊泰, 大上英夫, 南村哲司, 齊藤光和, 清水哲朗, 廣川慎一郎, 塚田一博: 胆嚢癌を合併した腎細胞癌臓転移の1切除例. 第63回日本臨床外科学会総会, 2001, 10, 横浜.
- 61) 塩崎有宏, 片岡 健, 藤村正樹, 齋藤 滋: ヒト胎盤, 絨毛癌細胞株および絨毛細胞株における survivinの発現とアポトーシスの制御に関する検討. 第9回日本胎盤学会学術集会, 2002, 10, 大阪.
- 62) 二谷 武, 八木信一, 家城亜紀子, 市田路子, 宮脇利男, 島津親志, 大嶋義博, 津川 力, 徳山普子, 米田 哲, 齊藤 滋: 気管内ステント留置により呼吸状態の改善が得られた左主気管狭窄症の1例. 第15回北陸未熟児新生児研究会, 2001, 10, 金沢.
- 63) 内 尚子, 藤村正樹, 日高隆雄, 堀 慎一, 齋藤 滋: Paclitaxel腹腔内投与後の血中Paclitaxel濃度. 第39回日本癌治療学会総会, 2001, 11, 広島.
- 64) 二谷 武, 八木信一, 宮脇利男, 佐々木 泰, 齊藤 滋: X染色体長腕部分過剰を伴った6番染色体短腕部分欠失の男児例. 第22回北陸先天異常研究会, 2001, 11, 富山.
- 65) 長 誠司, 廣川慎一郎, 坂東 正, 清水哲朗, 霜田光義, 渋谷和人, 橋本伊佐也, 塚田一博: 転移性肝腫瘍に対する動注化学療法後, 右肝動脈切断, 外側区域+S4部分切除術を施行した1例. 日本消化器病学会北陸支部会, 2001, 11, 金沢.
- 66) 堀 慎一, 津田 博, 宮崎聡美, 高上洋一, 齋

- 藤 滋：臍帯血CD34陽性細胞から誘導した樹状細胞は抗原特異的CTLを誘導する。第16回日本生殖免疫学会，2001，12，東京。
- 67) 宮崎聡美，津田 博，堀 慎一，斎藤 滋：妊娠初期脱落膜における樹状細胞サブセットに関する研究。第16回日本生殖免疫学会，2001，12，東京。
- 68) 佐々木 泰，道又敏彦，津田 博，斎藤 滋：prostaglandin D2に誘導されCRTH2陽性Th2およびTc2細胞が着床部位に集簇する。第16回日本生殖免疫学会総会，2001，12，東京。
- 69) 二谷 武，金兼弘和，宮脇利男，渡辺千晶，Ochs Hans，馬場義裕，塚田 聡：血小板におけるブルトン型チロシンキナーゼの発現とその患者・保因者診断への応用。第31回日本免疫学会，2001，12，大阪。
- 70) 二谷 武，八木信一，小川次郎，種市尋宙，宮脇利男，米田 哲，佐々木泰，斎藤 滋：コイル塞栓術により救命し得た先天性頭蓋内動静脈瘻の1例。第46回日本未熟児新生児学会，2001，12，横浜。
- 71) 種市尋宙，小川次郎，米田 哲，二谷 武，八木信一，斎藤 滋，板沢寿子，宮脇利男：先天性サイトメガロ感染症におけるMxA蛋白発現の経時的測定とその意義。第46回日本未熟児新生児学会，2001，12，横浜。